

海外プロモーションで

大きな成果

市内企業のビジネスチャンスの創出や海外販路の開拓を支援する海外プロモーション「高崎ものづくり海外フェア・シンガポール商談会」が昨年11月、シンガポールで行われた。高崎のものづくり企業14社が参加した商談会のほか、観光や食を含めた高崎市のプロモーションが大きな成果を上げた。

ものづくり海外フェア・シンガポール商談会



商談会参加企業メンバー



商談会



青経の青島理事長とSMFダグラス会長

●参加企業

- 株式会社野製作所 / 金属切削加工・省力化機械製作
- 川上機工株式会社 / 新聞折込広告丁合機
- 川島工業株式会社 / 工業用ゴム部品
- 株式会社キンセイ産業 / 乾留ガス化焼却装置
- 株式会社サンエス商会 / ガス燃料設備
- 三幸機械株式会社 / 機械加工・金属熱処理
- 株式会社成電工業 / 野菜栽培装置・制御盤・半導体製品
- 南高崎塗装工業所 / 建築用工業用塗装
- ネオプレックス株式会社 / 表面処理（メッキ加工）
- 株式会社羽鳥鉄工所 / 一般機械器具製造
- 株式会社林製作所 / 精密板金加工・金属プレス加工
- 株式会社牧野酒造 / 日本酒製造
- 株式会社マルニシ / 消防用避難器具製造・精密板金加工
- 南山崎製作所 / 精密板金加工・金属部品製造

社、政府機関、日本企業に関心のある工業系学生などが集まった。

開催前にSMF副会長が高崎を訪れ、今回の商談会のために市内企業を視察。副会長は高崎とシンガポール双方の企業ニーズをリサーチし、ビジネスマッチングの目鼻をつけていたことから「商談会当日はシンガポール企業に対して効果的なプレゼンができた」と青島理事長は語る。

商談会では、製品サンプルや映像を使って高崎の技術や製品を紹介し、現地ニーズに合った野菜栽培装置や廃棄物プラント技術などが特に注目された。49件の商談に結び付き、現在、複数の案件が継続されており、成果が期待されている。またシンガポール企業からの売り込みもあり、常にビジネスチャンスを追求するシンガポールビジネスマンの姿勢を強く感じたという。

●新たな連携、観光や映画にも波及

今回のシンガポール商談会をきっかけに、青経と青経工業クラブ（青経OB組織）が2月に合同でタイ視察を行うことになった。両団体の合同視察は初開催で、ものづくり企業同士の連携が深まっている。こうした企業連携が、他にはない高崎のものづくり

●アジア経済圏の中心地で注目を集める
高崎の総合プロモーション

高崎市の「ものづくり海外フェア」は、これまで平成26年度にタイ・インド、平成27年度にチェコ・ポーランドで行われ、平成28年度はアジア経済圏の中心地であるシンガポールが選ばれた。シンガポールの海外フェアには高崎青年経営者協議会（青経）など市内企業14社17人と、実行委員会会長の八木議廣副会長が参加し、ビジネス商談会や現地企業との視察などを行った。

また、この「ものづくり海外フェア」に合わせてシンガポールのタカシマヤで開催された日本の物産展「ジャパンフェア」に高崎ブースを出展したほか、現地メディアへのプロモーションも実施した。新聞やインターネットなど11もの情報媒体に高崎が取り上げられるなど、高崎観光協会や農業関係者も巻き込んだ総合的な海外プロモーションが実現した。

青経の青島真一理事長は「シンガポールはビジネス国家であり、多国籍企業が集まる商社街。世界とつながっていると実感した。日本の食に対する関心も非常に高い。今回の海外フェアの波及効果は大きかった」と手応えを実感している。

●シンガポール製造業連盟と覚書締結
政府高官や駐在日本大使が出席

今回の海外フェアの大きな成果の一つが、シンガポール製造業連盟（SMF）と青経の覚書締結である。双方支援や情報共有、協業などの連携に向けた内容となっており、これからの相互交流に大きな弾みがついた。SMFはシンガポールの製造関係企業3千社が加盟する同国最大の工業団体で、SMFが日本の単独都市の団体と覚書を締結するのは今回が初めて。調印式にはシンガポール政府高官、駐在日本大使といった国家間レベルとも言えるVIPが出席した。

青経の青島真一理事長は「ものづくり大国日本への強い期待が感じられた。覚書締結を、これからのビジネスマッチングにつなげていきたい」と話す。

●商談会をSMFがバックアップ

シンガポール企業との商談会は入念な準備の上で臨み、SMFの協力により、現地企業約50

の大きな強みである。

シンガポール商談会を始めとする一連の高崎プロモーションは、高崎市は事前PRとして高崎の観光情報もシンガポールメディアに取り上げてもらい、実際に新聞記事を読んだシンガポール人が高崎に観光に訪れる事例も出てきている。

また高崎とシンガポールの交流のきっかけにもなり、シンガポール映画を高崎で撮影する計画が進行中という。詳細はまだ発表できる段階ではないが、シンガポール映画界の著名監督とスター女優による作品だという。

●高崎の「これから」につなぐ

3カ年度にわたって行われた海外フェアについて、高崎市の富岡賢治市長や八木実行委員会会長は「ものづくりに携わる高崎の青年経営者が海外に進出してほしい」と語る。青経の青島理事長は「実際に海外に出て体験してみないとわからないことがたくさんあり、シンガポールのビジネスについて見方が大きく変わった」と海外への視野を広げた。「日本の魅力は海外で認められており、これから伸びる要素もたくさん発見できた。これからの高崎につなげていきたい」と意欲を示している。

「海外フェアの成果をどう生かせるか。私たちの力にかかっている」と青島理事長は話す。